

し上げます  
昨年中は、町連の活動や運営に特段のご理解とご協力を賜り、感謝の気持ちでいっぱいです。

二十一世紀の初年度は、テロ事件、景気の低迷、狂牛病等々不透明感の多い厳しい一年間でした。

つい先日、某新聞「読者の声」投書欄に「今は暗く悲しいことばかりでも、この暗さに負けずに日々生活する近隣の輪が一つになれば、きっと夢と希望に満ち

## 平岡地区町内会連合会

## 明るく生きる家族

との記事を読み、地域・近隣の心のつながりの大切さ、遠くの親戚より近くの他人の大切さを実感したのです。

さて、今の日本経済の豊かさが逆に人の心を貧しくし、子どもの教育まで歪め制度の見直しすら求められています。しかし、制度で人は育ちません。子育てには、基盤となる風土・地域こそ大切です。子どもは、家族とのあり方を理解し、親の日常を通して社会に対する感覚を身につけ、その中から事柄の善悪を厳しく



時間をつくっては通学路に立つ大橋会長

ひらお力

平岡地区町内会連合会  
清田区平岡7条3丁目9-25  
平岡地区会館内  
☎ 883-7100  
発行責任者 大橋 良一  
編集責任者 清辺綱太郎

いでしようか。  
一人ひとりが、人を思い  
やる心をもって、安心して  
暮らせる街づくりを目指し

多幸を心よりお祈り申し上げまして年頭のご挨拶といたします。

平岡地区「町連」	顧問	相談役	副会長	会長	監	事業部	総務部長	財務部長	理事一同	※各町内会長	坂東夫佐子	木下日出男	中村知治	安井清治	薄木泰雄	森岡和夫	菅原光男	伊藤義成	図書	中野敏行	唐沢繼則	木下日出男	坂東夫佐子	塚田良一	岩本昭夫	大橋剛人	武夫勇次	長岡武夫
体育部長	青少年育成部長	交通安全対策部長	防犯部長	防災部長	保健衛生部長	福祉厚生部長	財務部長	総務部長	理事一同	※各町内会長	坂東夫佐子	木下日出男	中村知治	安井清治	薄木泰雄	森岡和夫	菅原光男	伊藤義成	図書	中野敏行	唐沢繼則	木下日出男	坂東夫佐子	塚田良一	岩本昭夫	大橋剛人	武夫勇次	長岡武夫
唐沢	木下日出男	中野	図書	菅原	伊藤	石田	相原	森岡	※各町内会長	坂東夫佐子	木下日出男	中村知治	安井清治	薄木泰雄	森岡和夫	菅原光男	伊藤義成	図書	中野敏行	唐沢繼則	木下日出男	坂東夫佐子	塚田良一	岩本昭夫	大橋剛人	武夫勇次	長岡武夫	
継則	敏行	仁男	誠	岑生	義成	光男	和夫	和夫	※各町内会長	坂東夫佐子	木下日出男	中村知治	安井清治	薄木泰雄	森岡和夫	菅原光男	伊藤義成	図書	中野敏行	唐沢継則	木下日出男	坂東夫佐子	塚田良一	岩本昭夫	大橋剛人	武夫勇次	長岡武夫	
唐沢	木下日出男	中野	図書	菅原	伊藤	石田	相原	森岡	※各町内会長	坂東夫佐子	木下日出男	中村知治	安井清治	薄木泰雄	森岡和夫	菅原光男	伊藤義成	図書	中野敏行	唐沢継則	木下日出男	坂東夫佐子	塚田良一	岩本昭夫	大橋剛人	武夫勇次	長岡武夫	

生活環境部長	武田 昭夫
広報部長	渡辺綱太郎
女性部長	古川 洋子
平岡地区会館運営委員会	
委員長	畔原 清彦
清田区役所	
区 長	河村功一郎
平岡連絡所	
所 長	飯塚 努
平岡地区	
会 長	松尾 隆
連絡協議会	
福祉のまち推進センター (ふれ愛梅の実広場)	
運営委員長	石田 義成
平岡地区老人クラブ	
会 長	中鉢 彰
清田消防団平岡分団	
分団長	木下日出男
平岡農事実行組合	
組合長	北川 栄一
日赤奉仕団平岡分団	
分団長	坂東夫佐子

町  
内  
会  
も  
の  
が  
た  
り

## 子どもたちの故郷づくり しんたくの「和」をめざして

町連生活環境部長 武田昭夫

夢と希望の幕開け『21世紀』皆様の町内会、自治会活動は如何でしたでしょうか。さて、今年の抱負は…と考える前に、昨年の今頃は…と振り返ってみました。昨年の今頃も、辞書を片手に町連広報誌「ひらおか」の原稿(H13・第16号)づくりに頭を痛めておりました。その結果として、「平岡しんたく自治会の活動」の様子をお知らせ致しました。加えて、この秋口、またま広報部長と地域づくり・町内会活動のあり方などについて話し合う機会があり、相互に考えていることを多少の経験などを交えて語り合いました。その中で、地域づくりや町内会活動の活発な展開というのは、法則やたてまえを先行させるので

ではなく、近隣町内会の動きの良い所、悩みごと、見通しのたて方などを相互に情報交換できるネットワークづくりをどこまで充実させることができるかということなどが大切だと結論を得たような気がします。

従つて、「町連」と「單町」、「單町」と「單町」というパイプがどれ程風通しよくできるかが大きな鍵となります。その意味では、各「単町」の会長さんの出席する理事会も大きな意味を有しておりますし、視点を変えて、平岡地区の中でも同じような行事計画している担当部所同志の交流会(課題別交流会)などの可能性などの検討もしてみてはいかがでしょうか…とも考

そこで、今回は「しんたく自治会」の「夏祭り」をネットワークに載せてみたないと考えたのです。

◎運営要領

(1)主体は総務部とし、実行委員長は総務部長が務め全役員の協力を得て開催されます。

(2)内容は、子ども・大人の盆踊り、焼き鳥おでん、焼きそば、いか焼き等の出店。



活気張る・恒例の餅つき大会

- ・平成九年 北野夕やけ太鼓
- ・平成十年 清田フレンズ(この年手作りハッピ43着完成)
- ・平成十一年 清田舞童里夢(YOSAKOI2年連続)
- ・平成十二年 20周年記念式典開催
- ・平成十三年 橋文也とハローブラザーズ、当自治会出身演歌歌手。一の家良の皆さんをお迎え致しております。
- ・さて、平成十四年は?以上、役員と女性部の大活躍があり、更に忘れてはならない二団体の強力なご協力があります。
- 一つは、自治会の老人クラブ(とは思えない、全員みな若々しい元気な仲間)「樂生会」の皆さんです。餅つきは当日の朝八時頃よ



り準備開始。前日洗つておいた米を蒸し籠へ(量が多いと搾き手が大変)出来た餅を素早くちぎり袋詰め。この流れ作業の速さに、年輪と経験を感じると共に、自然にお手伝いの子ども達へと受け継がれていくことに感動……。

二つ目は、有志の任意団体「オーチャードクラブ」です。青年部(青年?)とでも云つた処か。自治会の中にはこのような部は無く勿論部費もない。しかし、自治会員の皆さんには《市民権》を得ている仲間である。このクラブが役員と共に櫓を建てるたり、餅を搾り



たりテント設営等々の活躍をし、町内各種行事に対する自主的貢献は地域に根づいた力強いかけがえのない財産とも言えます。

十月には、十数種目実施の運動会、終了後の成吉思汗を囲んでの懇親会。

二月には、冬の運動会、慰労の熱いいうどんとそば……。

これらの行事は、自治会

のほぼ中心にある。“どろんこ公園”で開催されます。

苦労もあるが、それにも増して喜びも多い。こんな

「ひらおかしんたく自治会」が、私は大好きだ。

この地域の子ども達が、そして私達の孫等が明るく瞳を輝かせる健康な姿を見ていると、今年もやっぱりやるんだからなあ……。

より盛大に…を願つて。

## 豊平警察署少年補導員連絡協議会

平成13年12月3日に新発足

■相談役  
会長 中浦義信  
副会長 沼田輝水  
清田中央「町連」  
会長 杉本勝昭

(1)清田区内各「町連」及び防犯部との連携について  
(2)清田区内各「町連」及び防犯部との連携について  
(3)豊平警察署清田地区内三交番との情報交換会

開催について  
(4)清田区内の小、中学校との情報交換について  
(5)清田区児童相談員との情報交換について  
(6)学校週五日制に伴う子ども達に、社会体験、自然体験、親子の語らについて  
(1)清田地区少年非行概況

この会は『少年補導員相互と連携を密にして、各小・中学校との情報交換、知識向上と積極的な活動を促進して少年の健全育成に寄与する』ことを目的とし、從来の健全育成活動を一層強化する願いを受けて組織されたものです。

平成14年度の事業計画

い、地域とのふれあいの場と、運動推進について  
(7)非行の芽は、早期発見・早期対応、学校と地域社会の連携プレーの推進について  
(8)その他、委員会の目的達成のため必要と認められる会議を開催することができる。

平岡地区青少年育成委員会

文化部長 菊地和枝

二、平成14年度 委員会役員

■顧問 豊平警察署少年補導連絡協議会  
会長 中浦義信  
副会長 沼田輝水  
清田中央「町連」  
会長 大橋良一  
・平岡「町連」  
・清田「町連」  
・里塚 美しが丘「町連」  
・北野「町連」  
・委員長 (豊平署少年補導協副会長)  
・副委員長 (清田地区支  
部長) 木下日出男  
・副委員長 (清田地区支  
部長) 山口正雄

## 『青少年育成活動の新風』を 平岡から…

・常任理事 (北野地区支  
部長) 村西 正  
・会計 (平岡地区支  
部長) 北川栄一  
・監査 (清田中央支  
部長) 溝口国高  
・同右 (里美地区支  
部長) 後藤美智子

・監査 (清田中央支  
部長) 溝口国高  
・同右 (里美地区支  
部長) 後藤美智子



紅白玉入れ合戦に沸く

**ツフェスティバル2001**

を開催いたしました。

当日はあいにくの雨天でしたが、平岡中央中学校の校長先生・教頭先生のご好意により体育館を開放していただきました他、バドミントンの元国体選手でもあります杉田校長先生から、「青少年の精神と肉体のバランス」をテーマにお話をいただきました。

青少年の精神と肉体のバランス」をテーマにお話を聞いていただき、その後、「サッカーPK戦」等七種目のミニスポーツ競技大会を行い無事に事業を終えることができました。

競技の運営は、育成委員会が行いましたが、中学生が競技のお手伝いをしてくれて、幼児も小学生も元気一杯楽しんでおりました。この様子を見ていると、私たちが目標としている「温かい心と思いやりを持つた青少年を育む」という運動の目的が少しは達成できたのではないかと思つております。

昨年十月十日、共済ホールにて、札幌市青少年育成委員会連絡協議会・心豊かな青少年をはぐくむ札幌市民運動推進本部の主催で「少年問題を考える研究会」

が開催されました。その中で、札幌市の青少年育成委員会で平岡のように実践活動をしている所がないので活動内容を発表して欲しいとの依頼がありましたので「平岡ハーティマインド推進運動」の報告をさせていただきました。

研究会終了後、札幌市の少年アシストセンターの職員の方々をはじめ、出席していた多くの関係者の方々から高い評価をいただき、私たちの活動が時代を先取りした形で進められていることに自信と誇りを持ちました。その後、厚別区の青少年育成委員から具体的な活動方針についての問い合わせがあり、今までの記録をお送りしました。このよううに大きな反応があつたのは、青少年育成活動の新風を平岡から発信できたからではないかと自負しております。

この気持ちを大切に引き続き事業を継続させて行きます。

今年は、「平岡ハーティマインド推進運動」も十回目を迎えますが、あらためて町内会連合会・単位町内会をはじめ、小・中学校等

関係機関の皆様方に感謝を申し上げますと共に、今後も今まで以上にご支援、ご

平岡町連結成10周年記念企画

シリーズ②

## 『古老が語る 平岡のむかし話』

### 御料線から望む昔の風景

水上繁雄



昭和36年4月 御料線に面した水上リンゴ園の剪定

#### 一、うつそうたる原生林のなかで

祖先が明治十七年に北海道に来て、豊平川付近にいたらしい。豊平川が氾濫したりして、それで月寒の二十五連隊の付近に入った。

それから、この平岡の通称『泉の沢』に来たんだ。

#### 二、道路と川

御料線(厚別滝野公園通)

なんて笹の原っぱで、道路

は人が歩ける程度の山道で

した。遠藤さん(平岡七条

一丁目)の付近までは行け

た。御料線は、大正時代だつたか、囚人がつけたらしい。

この付近で一番良い道路で、

札幌夕張線まで続いていた。

道路沿いの様子は、崖のよ

うな火山灰の山の間を水が

流れ、削りとられるようになつていたんだ。

昔は、真栄だとかも明の

上流の方に行つたら、直接

川の水を飲んだんだ。

三里

川の下流では、全部田んぼを作つていたけれど、こん

な小さい川も、ちょっと大

協力をお願い申し上げまして新しい年に向けての抱負とさせて戴きます。

今の厚別川の周りは、森林でうつそうたるものんでした。今生えている木は、すっかり新しい木なんですよね。生活も今とは違うから、農家をやつて、炭焼きもやる。まきなどを札幌で売つたりして生活していたらしいんだ。泥道がひどくてね馬車が通れるように、自分の積んだまきを敷きながらなんとかして、着いたころには、まきが半分になつてたなんてこともあつたね。

しかし、田んぼはやちみたにぬかるし、大雨が降ると田んぼはみんな水をかぶるし、両方が山だから良いものも取れないしね。これはどうにもならないと、明治四十三、四年ころじやないかな、ここを買ったかなんかしたんだ。約十町歩あつた。まだ、おれの生まれたことだ。平岡では、もちろんかしたんだ。おれの子どものころにはおれの子どものころには前のことだ。平岡では、もちろんかしたんだ。約十町歩あつた。まだ、おれの生まれたことだ。平岡では、もちろんかしたんだ。おれの子どものころには桂の木のデカイ奴があつてさ。桂つて、中ガツボ(空洞のこと)なんだよ。おやじの兄弟は、桶屋も大工もいるもんだから、それを切つてもらつて五右衛門風呂にして入つた経験があるんだ。

雨が降るとあふれて、水田が泥の海になつたんだ。二里川も水量はあつたんだ。厚別川には、秋サケが上つたり、ヤマベが住んでいた。水田に水を利用するのに土手が何ヶ所かあつてね水がたまるんです。ちょうど小学校の裏に泳ぐのに良いところがあつたんだ。子どもたちが何處かあつてね水がたまるんです。ちょうど小学校の裏に泳ぐのに良いところがあつたんだ。

のこころは、鹿が歩いた道もあつたもんさ。排水掃除をしていると鹿の角が出てきたて、馬具にそれを掛けているんだ。

◇大正四年二月三日  
豊平町大字月寒村字厚別坂の上に生まれる。

## 老人クラブの現状と課題

平岡老人クラブ連絡協議会 会長 中鉢 彰

会長 中鉢 彰  
(わかば会)

副会長 竹次吉明  
(北友喜会)

同 清野 勇  
(シニア好友会)

会計 宮中忠夫  
(公園青樹会)

監事 斎藤秀雄  
(長寿会)

同 森岡和夫  
(じんたく樂生会)

平岡地区町連の広報誌(十八号)が発行されるに当り、この度大橋会長並びに渡辺広報部長より投稿を進められ、亦とない機会であり、私達協議会の組織運営、これから課題について申し上げたいと思います。先ず協議会には、平岡十二団体のクラブと約八百名強の会員の構成で運営されています。ほぼ毎月一回、十二名の各会長が集まり意見を交換しながら運営に取り組んでいます。先ず、役員組織を紹介します。

各部会の部長は次の通りです。この中で竹次副会長は、清田区老連へ出向し、区老連の副会長も兼務しております。



高齢者の福祉を説く中鉢会長

総務部長 中川正雄  
(梅ヶ岡悠々クラブ)  
文化部長 松本幸也  
(睦寿会)  
体育部長 畑原清彦  
(平岡)(老)  
女性部長 宇郷礼子  
(北友喜会)  
この他各老人クラブの会長は、次の通りです。  
天野 明 (みどり会)  
瀬賀 和夫 (平成会)  
細川 進 (三条団地オレンジクラブ)

現在おかれている各クラブに共通した問題は、何と云つても一年一年高齢化がすすむという会員や組織の動向です。年々足腰が弱り病院通いが、クラブの例会に出席すること以上に深刻な問題です。

しかし、そんな中にあっても夫婦がともども健康に気を配りながらパークゴルフに汗を流して体力を維持して毎日を過ごせる今が一番幸せだと思います。さて、平岡十二の単位クラブは一応清田区老連傘下となっていますが、町連が主催する各種イベントにはなくてはならない存在であり場合によつては大きな原動力になつてゐることも間違ひありません。

町連と老人クラブ連絡協議会の連携は、地域のお年寄りのために寄与する大き

協議会は、年間を通して乏しい財政をやり繕りして活動をしています。

今を盛りのペークゴルフ・ゲートボール等のスポーツは勿論のこと、年一回二月

ます。

な課題であり今一度原点にかえつて検討していきたいと思います。この度、平岡地区町連が地域社会に寄与したことからご祝詞申し上げます。

一一〇〇一一ねんりんピック  
広島大会 ゲートボール部  
に参加して

老人クラブ平岡長寿会  
会長 斎藤 秀雄

十月五日札幌市役所で結

団式を終え、市長代理の激励を背にうけ、バスと飛行



機で広島市へ、六日広島陸上競技場を会場とした総合開会式に、常陸宮両殿下ご臨席のもとで北海道を先頭に続く札幌市代表の行進、数万人、観衆の拍手と歓声に止めようとしても涙が出来る。全市あげてのマスゲームや各種イベントの大歓迎をうけ、今年のテーマである「あなたの笑顔にあいたいけん」に一人ひとりが親切に接してくれて広島県の熱意と意気込みが強く感じられた。七日のゲートボーリ交流大会は福山市箕沖球場特設コートで、一八四チーム二五九人の参加で試合開始、我がチームは一回戦敗れたものの二回戦では二五対五で勝った。熊本県と対戦後半主将の大活躍で強豪を破り三回戦は二敗の三重県とこれに勝つて、明日の決勝トーナメント戦にと張り切ったが僅差で負け一勝二敗の成績で終わつた。他チームからの補強もしないでの結果には不満は無く明後年への参加を夢見て練習に励んでいるこの頃です。



十月九日秋晴れの暖かな一日、七十才以上の一人暮らしの方々を招いて交流と親睦を兼ねた茶話会が、地区会館で催されました。三十一名が参加され、ふれ愛梅の実の石田会長、連合町内会の大橋会長の挨拶で始まりました。引き続き清田保健センターの伊藤保健婦さんから『転倒予防』についての話があり真剣に

**福祉推進員 吉川敏子**  
平岡地区茶話会  
“お年寄りといえ若者”  
**ふれ愛梅の実広場**

聞きいっていました。  
“お金は無くとも貯金しましよう”元気で頑張りましょうね。

その後会員皆さん手作りのお芋の味噌汁に舌つづみをうちながら普段あまり顔を合わせ事がない人達とも楽しくおしゃべりをして、美味しいお昼をいただきました。食後の休息の後はいよいよ、六人制風船バレーの始まりです。

少々足の痛い人も、腰の痛い人も推進員と一緒に全員参加で、『黄色』『橙』『青』『赤』『桃色』『白』『緑』『紫』とハチームに分かれての勝ち抜き戦です。

一回戦は少々ぎこちなかつたけれど回が進むにつれて

だんだん元気になり周りの応援団の声にこたえて、選手も『頑張ろう』と声をかけ合いながら笑い声のたえ

ない試合風景でした。決勝戦は、赤チームと白チームの対戦です。

全員の応援を受け、どちらもゆずらず見ごたえのある戦いでしたが、最後は僅差で白チームの優勝でした。  
「優勝旗」とまではいきま

せんが皆さんから沢山の拍手をもらい、全員参加賞で終了しました。  
「又やりたいね」という

声もあちこちから聞かれる楽しい会になりました。  
又、元気でやりましょう。  
“ブイト”

## 創意・工夫のリポート

### 新会長のヨチヨチ歩き

平岡第一町内会  
会長 二浦 宣昭

平成十三年四月、当町内会の第二十二回定時総会が無事終了。数日後前会長宅にて事務引継ぎが始まる。

あれこれと引継ぎ事項の多いことに少なからず戸惑いながら終える。

翌日より引継ぎ事項の整理と復習をする。新年度の町内会運営や事業推進に数々の不安が脳裏に浮かぶ。

承認された事業計画を改めて見ると町内会の目的達成には欠かせない事業ばかりである。十一月末で事業計画件数に於いて76%を実施する事が出来た。

実施事業の中に近隣町内会との合同事業が数件ある



のでご紹介いたします。

八月七日には、子供花火大会及び七夕祭り、八月中旬には盆踊り大会を、平岡第一自治会、第二、第三、第五町内会の四町内会合同で実施しています。

九月には、ミニ運動会とジンギスカンパーティーを、第二、第三町内会の合同で実施している。

又一月中旬には子供新年

声もあちこちから聞かれる楽しい会になりました。

又、元気でやりましょう。

会（餅つき大会、カルタ大会等）を、第二、第三、第五町内会（平成十四年から第五町内会が参加）の三町内会の合同で行います。

この様な合同事業の実施は近隣町内会との親睦を図ると共に経費の効率化につながり町内会の運営に大変有益な事だと思いますが如何でしょうか。

盆踊り大会の会場である、平岡わかば公園のリフレッシュ工事が平成十四年九月頃より予定されています。リフレッシュ計画にあたり数回に及ぶ地域住民（第一、第五町内会住民）との意見交換会も終えることが出来、二月には町内の除排雪作業を間近に控え、ヨチヨチ歩きの会長一年生が何とか無事に歩いているのも、連絡所、町連役員の皆様始め、町内会役員、町内会々員及び隣接町内会々長諸氏の御指導、御協力のお陰と感謝申し上げます。

## 女性部の活動について

春風台町内会  
女性部長 秋原みどり

当町内会女性部の活動内容は、ガン検診への協力、女性部親睦行事の計画実施、夏祭り、敬老の日の慰労会など町内の行事関わりがあります。新年交札会など町内の行事慶弔への協力、町連女性部との連携、他と実に沢山の関わりがあります。

研修会行事として、最近では清田区市民見学会を利⽤して、百合が原公園、白川浄水場、中沼資源選別センターなど見学してきました。特に資源の選別作業見学では、ゴミの出し方などを勉強させられました。



親睦行事として、年に一度、遠出をします。日帰りですが、おたる水族館に行ったり、今年は天然温泉くりやまへ、途中『坂本九』思い出記念館を見学、温泉につかり、美味しい物を食べて食後に温泉へと、ゆつくりできるよう計画しました。食べながら飲みながら若い方も先輩方も女同志、話に尽きることなく楽しい時間が過ぎせたのではないでしようか？

又、ここ一、二年は自分も含め、手作りに興味のある方々の手を借りて、パワーケ、牛乳パックを使つ

ての小物入れ、クリスマスリースなど手作り交流会を計画、年度末に作品の展示を兼ねて懇親会をしました。今年は陶芸教室、しめなわリース作りを計画しました。

大所帯の当町内会、お母様方も働いている人が多く、幅広い年齢の方が参加できるよう少ない予算で沢山の行事をしてきました。しかし、役員自身も忙しく女性部のみでは無理なことも、他の女性役員、会員の方のお力を借りてやつてこれたと思います。自分も楽しみながら関わつてこれまで、女性部の活動をこのように文章にしてみると、改めて女性部を含む女性役員は「縁の下の力持ち」そんな言葉がピッタリです。

当町内会は昭和五十七年三月、入居者が百六十戸の段階で、七十五名の出席で結成総会が行われました。当時から地下鉄大谷地駅やスーパーには歩いて行け平岡小学校に隣接していますが、中学、高校からはやや離れた地域でした。

しかし、周囲には山林や畑もあり、冬はスキーを楽しめる傾斜地も残つており住宅の庭に飛来する野鳥も多く見られました。現在は、周辺一帯に住宅が立ち並び、会員も四百六十戸を越え、空地は殆ど見当たりません。

この間、先人の努力により、町内会館の建設や街路灯の増設もありました。町内会館は、町内会の行事をはじめ、老人クラブ、「友喜会」や「ふれあいネットワーク平岡北」および子供たちの学習の場としておいに活用されています。駐車場が狭いことを除けば、

## よつやく“はたちになりました”

平岡北町内会

会長 関口 岩雄



管理人の努力もあって小規模な集りには恰好の施設として住民に喜ばれています。町内会活動では運動会やソフトボールにも取組んだ時もありますが、住民の高齢化もあり、最近は実施できな状態が続いています。かわって、施設見学や研修旅行が話題になります。今年は「札幌ドーム」見学を企画したところ、七十名もの申込みがあり関係者から嬉しい悲鳴が聞かれました。しかし、最大の年中行事はなんといつても、二日間にわたって行う「夏祭り盆踊り大会」です。

今年の二十周年は、特別な行事は行わず、恒例の行事すべてに「二十周年記念」と冠を付け、運営に工夫を

しました。

また、いま流行のパークゴルフ大会としては珍しい「ゴルフ愛好会」を立ち上げるなど、新たな試みも行いました。更には、自主防災組織を編成して四年になりますが、「防災意識の向上」を主眼として、今年も清田消防署の指導をいただき、煙道通過体験を取り入れた防災訓練を行いました。これらの活動を通して住民相互の交流が深まることを期待していますが、雪国の宿命でしようか、冬場の除雪で雪捨て場所や迷惑駐車に関連して住民の感情が一変する場面もありました。今年から福祉除雪が始まりましたが、無理なく定着して欲しいものです。

## 体育部 四年間の活動

平岡公園町内会

体育部長 松村 辰夫



## 参加することの 楽しみ

平岡小学校前町内会  
保健体育部

豪

内会」  
第一試合は「平岡町内会」と、第二試合は「雪割草町内会」と対戦しました。

試合当日は好天に恵まれて、朝練習をすることができました。第一試合は「平岡町内会」と、第二試合は「雪割草町内会」と対戦しました。

町内会館での反省会には参加者全員が集まり、対戦の内容や今後の取り組みなどについて話が盛り上がり、世代の違いを感じさせない会話で、楽しい一ときを過ごしました。

皆さん満足されて帰ったと思います。スポーツを通じて町内会の住民の皆様と親睦を図っていく、素晴らしい事だと思います。今後とも、スポーツを通じて、付き合いを重ね、「いつまででも住んでいたい」と思える町づくりを目指し、引き続き、みんなで努力していくのです。

第一試合では、初戦といふこともあって投打がかみあわず、なかなか得点できませんでした。皆様が気軽に参加でき、又天候にも左右されず老若男女が参加するには室内で遊べるボーリングがよいという事で平成十年六月から年二回六月と十月に実施してきました。

早いもので今年の体育の日は無事、終了いたしました。

私の町内会は、この大会には第一回から参加し、優勝の実績もあることから、親睦を深めることの大切さを確認しました。

混合ソフトボール大会が、九月二日午前九時から、清田公園グラウンドで行われました。今年は七チームの垣根を越えて交流を図り、親睦を深めることの大切さを確認しました。

私の町内会は、この大会には第一回から参加し、優勝の実績もあることから、親睦を深めることの大切さを確認しました。今年の六月の時には、いい意見がたくさんありました。全ての意見を取り上げるのには無理ですが他の役員さん共々協力してもらい予算の範囲内で、十月八日の体育の日は無事、終了いたしました。

第一試合では、初戦といふこともあって投打がかみあわず、なかなか得点できずに敗退。第二試合は打撃戦となり、得点するたびに大きな歓声があがり、選手と応援団がひとつになって対戦することができますので、勝利を手中に收めることができたと喜びました。かくして今年の大会は一勝一敗という結果でした。かくして今年の大会は一勝一敗という結果でしたが、よい汗を流したことで選手と応援団とともに、さわやかな気持ちと満足感にひたりながら帰途に着きました。



最後に「勝敗は時の運といわれますが、来年は何とか優勝したいですね」と捲土重来を誓つて反省会を終了しました。

平岡地区町連の行事にはソフトボール大会の他に、パークゴルフ、ゲートボーリー、歩く運動など、また各町内会単位の行事にもいろいろあります。が、もつと沢山の人がオリンピック精神を発揮して、積極的に参加され、交流を深めていただければ、各町内会の発展更には平岡地区町連の発展にもつながっていくのではないかと思つています。

## ボーリング大会実施

平岡雪割草町内会

総務部長 橋本多来夫



果物狩り、バーベキュー、懇親会などでしたが、来年どうするか皆さん意見を聞いて実施したいと思つています。

平成13年度の町内会レクリエーション行事として、初めてボーリング大会を実施しました。10月21日(日)11時から清田のロイヤルボーリにおいて、39名の参加を得て、坂下副会長の始球式のあと2ゲームの試合、その後、表彰式を兼ねて昼食会を開催しました。参加者

は、小学生以下5名、女性15名、男性14名と幅広い層からの参加があり、応援者(5名)も昼食会に加わり、にぎやかなうちに終了しました。ゲームのハンディをどのようにするか迷いましてが、1ゲームにつき小学生以下40ピン、女性20ピンのハンディとしました。大会の成績は、優勝森フサコさん、準優勝澤田玲子さん、第3位坂下良一さん、第4位坂下久美子さん、第5位佐藤三人さん、のほか飛び賞、ブービー賞も贈呈されました。これまで実施してきたレクリエーションは、

建物等が新しいことや管理制度の組織もあることから町内会に対する要望もなく過ぎてきました。何とか親睦を図る機会を見出さなければとの思いは常にありましたし、先にあげた行事もその一環として実施してきました。

三百三十戸の会員は全体的には若い人が多いことから子供を巻き込んだ行事が活性化として結びつくのであります。今年七月二十日から朝六時半のラジオ体操を実施することを決め八月十日ま

## 案するよりは…

平岡シユヴァーピング町内会

会長 大久保武己

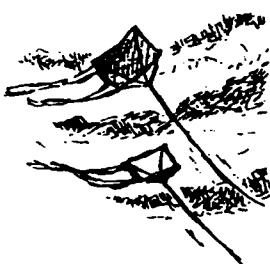
で開催しました。参加した子供は七十名にも達し予想を越えた成果となり、更にこの中で子供達だけで平岡東公園の清掃も行いました。皆んな従順で素直な子供達です。また沢山の父母にも参加いただきました。この勢いで十二月に子供会を発足することとしています。

当町内会も早いもので三年が経過しました。この間、会員の親睦を図るために新規年会、夏祭り、ブドウ狩り、また環境美化のために春秋に町内清掃等を行つてきました。しかし、集合住宅から日常的に顔を合わす機会がなく、町内会の活動にも積極的な参加は見られません。また、公園や丸紅の未使用地などがあることから外の行事には事欠きませんし集会室もあります。

この子供会は町内会発足の目的の一つとして考えてきましたが、なかなか前には進みませんでした。幸いにも今年の役員に適任者がおり、本人の意欲からこのようなことが出来るようになりました。

とにかく、事を始めるにあたつては人(指導者)がいれば、特に会員全てが新しいところでは困難は伴わないのかも知れません。

私はベランダから朝登校する子供達をほんの少しの間眺めていますが、賑やかに建物の前を通り過ぎて行きます。小学生は五十年前の私とさほど変つていません。



## 町内会だより

平岡親和会町内会

会長 土岐 政美

今年度の行事を紹介いたします。

私達の町内会では、子供会、婦人部共同で合同行事を年一回行つております。

生活基盤を共にしている町内会で、子供(と父母)と大人、互いに顔見知り挨拶ができることが、明るい町内会です。

会づくりの第一歩と考えてのことです。

ここ四～五年続けておりおかげで毎年楽しい行事となつております。

行事のことが子供会総会では水あそびに人気があり、婦人部の意見とあわせ観光も兼ねて、洞爺湖サンパレスへの日帰り旅行と決まりました。七月二十一日、八十三名が貸切バス二台に分乗、八時三〇分出发お昼はホテル弁当(ジュース、ビール付)と楽しい一日を過ごし午後五時無事帰札致しました。

#### 二、子供会行事

・前記合同行事の他四～五月に総会、役員選出、行事を決めおみやげを持つ十二月は映画会の開催を予定

#### 三、婦人部の行事

- ・婦人部の日帰り温泉旅行
- ・電気の知識、安全性の高い商品紹介
- ・足は第二の心臓、寝たきりにならないためにもと、五月連休から十月の町連主催の歩け運動の前日まで、
- などを実施しました。
- 四、体育部の行事

大人三十八名、幼児三名の参加で、大型バスもほぼ一杯となり、天候もいかがななものかと思つていましたが、参加者の皆様の日ごろ

性部の交流会として小樽博物館、小樽旧日本郵船など小樽の歴史を少々学んでまいりました。

**佐藤とき子  
工藤しのぶ**

### 女性部 交流会を終えて

平岡梅ヶ岡町内会



毎日、朝のウォーキングを実施しております。参加自由で常時十名前後が約一時間4kmを歩いております。町連の歩け運動が最後の仕上げで、今年は十三名が参加しました。なお、今年は藻岩登山で足だめしをしました。

が約一時間4kmを歩いております。町連の歩け運動が最後の仕上げで、今年は十三名が参加しました。

の行いが良いせいか？小樽では長袖では暑い程の好天に恵みました。

博物館、旧日本郵船ではガイドさんをお願いしてお話を聞きました。北一ガラスでは、自由行動として見て歩きました。ほんのひと時でも、町内会の皆様と一緒に学んだり見学できたことで、何人の方々とお話ししたり顔見知りになられたのではないか。これらを機会に交流をもてたら幸いと思います。

参加者の皆様、お疲れ様でした。

誠意をもつて貢献されました。そのたゆみない功績に対し表彰を受けました。

### 表彰のご紹介

#### ◎全国民生委員 児童委員連合会

◆平岡地区民生・児童委員  
永年勤続表彰

(1) 北野通りの植花活動  
(2) 三里川の草刈・清掃  
(3) 平岡中央通りの桜並木の整備等々に「町連」

ご三方は、いずれも在任十八年以上の永きにわたつて地域の民生・福祉活動に

黄倉正志様  
西川幸子様  
松本正様

#### ◎住みよい環境づくり 優良実践労者(団体)

◆北海道知事感謝状  
・平成13年11月30日

平岡地区町内会  
連合会殿

この表彰は、全道を範囲として、毎年住みよい生活環境づくりに努力された団体を表彰するものです。

・当地区では



#### ◎札幌保護観察所 所長表彰

◆感謝状  
・平成13年9月1日

札幌保護観察委員  
古川洋子様

要観察者の自発的な改善・更正に、永い間ご尽力をされましたご苦労に対し表彰を受けられたものです。



## 民生・児童委員をご紹介します

平成十三年十二月一日付で地区民生・児童委員が改選されました。

民生・児童委員は、区役所や関係機関と連携しながら、地区住民の生活実態の把握に努めるなど、地域における社会福祉の推進役として活動しております。

福祉の問題などでお困りの場合、お気軽にご相談ください。

## 平岡地区民生・児童委員名簿

定員23名

平成13年12月1日改選

氏名	住所	電話	担当区域
長橋 扶史子	平岡2条3丁目6番1号	881-6640	平岡1条2丁目11番・12番 平岡1条3丁目7番 平岡2条2丁目・3丁目
成田 實	平岡1条4丁目3番10号	881-0594	平岡1条4丁目～6丁目
守谷 勤	平岡3条1丁目7番6号	882-3145	平岡2条1丁目 平岡3条1丁目1番～11番 平岡3条2丁目1番～9番・14番
大橋 良一	平岡1条6丁目2番13号	882-2986	平岡2条4丁目～6丁目 平岡3条4丁目・5丁目
小松 武美	平岡3条3丁目17番1号	881-3662	平岡3条3丁目1番～19番
杉岡 洋子	平岡3条3丁目22番1号	882-3781	平岡3条2丁目10番～13番 平岡3条3丁目20番～30番 平岡4条3丁目1番～4番
佐藤 みち子	平岡4条1丁目3番20号	882-4838	平岡3条1丁目13番～18番 平岡4条1丁目3番～13番 平岡4条2丁目
大宮 幸夫	平岡5条1丁目3番10号	881-3406	平岡4条1丁目1番・2番 平岡5条1丁目
大向 悅子	平岡5条3丁目2番18号	882-6514	平岡4条3丁目5番～23番 平岡5条4丁目1番～5番
渡邊 繩太郎	平岡4条6丁目9番7号	885-0056	平岡4条6丁目・7丁目 平岡5条6丁目
松本 正	平岡5条2丁目7番15号	881-3163	平岡5条2丁目・3丁目
船木 純子	平岡6条3丁目13番20号	883-7398	平岡5条4丁目6番～11番 平岡6条3丁目6番～18番 平岡6条4丁目
塚本 芳美	平岡5条1丁目1番27号	885-9693	平岡6条1丁目
西川 幸子	平岡6条2丁目2番1号	881-3264	平岡6条2丁目 平岡6条3丁目1番～5番 平岡7条2丁目 平岡8条2丁目
泉 豊吉	平岡8条1丁目7番24号	881-5395	平岡7条1丁目 平岡8条1丁目6番～13番
吉川 敏子	平岡9条1丁目21番24号	883-0453	平岡8条1丁目1番～5番 平岡9条1丁目・2丁目
白井 敏子	平岡7条4丁目6番20号	884-3396	平岡7条3丁目 平岡8条3丁目
松尾 隆	平岡9条3丁目8番26号	882-6428	平岡7条4丁目 平岡8条4丁目
矢萩 洋一	平岡8条4丁目15番11号	884-2181	平岡9条3丁目・4丁目 平岡10条3丁目
横山 由美子	平岡10条2丁目1番3号	891-7727	平岡10条1丁目
川原 秀明	平岡10条2丁目21番3号	895-3184	平岡10条2丁目
菊地 和枝	平岡7条3丁目3番11号	883-1986	主任児童委員
彦素 幸夫	平岡1条5丁目1番17号	883-0378	主任児童委員

## 退任のご挨拶



(平岡地区民生児童委員協議会 前会長 石田義成)

この度、民生児童委員の  
一齊改選を機に委員を退任  
させていただくことになり  
ました。昭和五十二年十二  
月、地区民生児童委員とし  
て委嘱を受けてより二十四  
年間にわたり皆様方の温か  
いご指導とご支援をいただき  
まことに心から感謝と  
お礼を申し上げます。

在任中、地域も大きく発  
展してきましたが、少子高  
齢化が進行する社会環境の  
中につれて支え合う地域福  
祉の充実がますます期待さ  
れています。その中核を担  
う地区民生委員児童委員の  
活動に今後とも地域の皆様  
のご理解とご協力をお願  
い申し上げ退任のご挨拶と  
させていただきます。

俳句

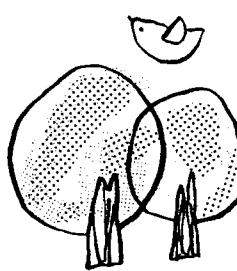
『三国志』

夜長の灯ぶらりと下げる  
ものぐさの影ひきづつて

黄葉期 寒北斗動かず明日も生く  
終章の落葉せせりてアーチダム

湖の平そこねず照紅葉  
パークシティ平岡町内会  
山下 松寿

短歌



寒風の頬に当たれどこの顔を照らす日あり心地良く歩  
む 障害のある己が子の成長を明るく話す友を尊ぶ

老いを見る立場いつしか自らの老いを見らるる齡となりぬ

夕飼に孫の加はり常になく老いの食卓賑はひてをり

六十六のわれに根気よく教へ給ふ師に感謝しつつフルートを吹く

平岡第五町内会  
高野 ス工

あ  
と  
が  
き

まず、日照や湿度など自  
然の恵みが豊富であること  
はいうに及びませんが、  
「手入れ」という人間の力  
で成長を応援する手法がど  
こまでいき届くか…杉が氣

持ちよく伸びていけるか…  
ということだが、自然条件と  
の相乗作用で成長をいつそ  
う効果的なものとすること  
が出来ます。

それには、まず上げられ  
るものに「枝打ち」があります。  
素姓のよい幹を作  
ためです。下草刈りも大切  
です。土壤からの養分をよ  
く吸収するためです。

ところが、この「枝打ち」  
と「下草刈り」には、良材  
を得るためにや優れた造林地  
を作るのに決して疎かには  
できないもう一つの大きな  
理由があります。

下草が伸び・下枝が勝手・  
気ままに伸びてしまふと、  
役に立たない下枝と雑草が  
林の中の空気の流通を妨げ  
ます。栄養を横取りされ樹  
林が体力を失います。加え

て、よどんだ空気中を好む  
虫や菌類が待ち構えていま  
す。いや、本当の自然に帰  
趣したんだからいいじやな  
いか…。

本当だろうか…。

ひょっとすると、自然と  
人が背中合わせになり、  
互いに好き勝手な状態を意  
味しているのではないでしょ  
うか。私たちは、人間と人  
間も…人間と自然もしつか  
り向かい合って生きしていく  
ことが大切です。自然の法  
則と人間の知恵…この両方  
がしつかり噛み合うところ  
から、人間の…街の…地域  
社会の豊かな明日が創られ  
ると思います。

町内会も街も、さわやか  
な風が気持ちよく通りぬけ、  
地域や社会のニュースやゴ  
シップが軒下や街のそこか  
しこに、こまり顔や笑顔、  
したり顔を創つて吹きぬけ  
ていったらどんなに愉快だ  
ろう。風が仲間をつくり、  
考えを練り、活動までつく  
るかも…。沢山の原稿を読  
ませて戴き、この十八号が  
2002年の平岡の鮮やか  
な風になつてくれたらなあ…  
などと思いながら仕事を終  
えました。

《渡辺》